

平成24年度社会貢献プロジェクト 地域への発信

～『筑駒人材バンク』を生かした地域貢献～

附属駒場中・高等学校 教育支援プロジェクトチーム

1. 概要

本校が筑波大学の附属学校として
培い育てきた学校文化を、地域の方の
生涯学習に資することを目的し、
地域住民を対象とした公開講演会と
公開講座で構成した「第6回筑駒アカ
デメイア」を開催した。



生徒デザインのチラシ



「将棋を楽しむ」 「親子でやってみよう 裁判員裁判」 「筑駒LBC (3・1・2弁当箱実習)」



「『プラスチック』ってどういう意味？」



「化石のレプリカを作ろう」

2. 実施内容及び成果

公開講演会: 講師に筑波大学及び本校OBなど豊富な人材を活用し、地域住民のニーズに応えることを考えて講演内容を設定している。

- (1) 2012年7月14日
愛知県立大学准教授 與那覇潤氏 (本校卒業生)
「日本史の新しい見方 -『西洋化』から『中国化』へ?-」
- (2) 2012年10月13日
筑波大学教授 土井隆義氏
「今日の友だち関係の光と影 -若者の親密性の変容を考える-」
- (3) 2013年1月19日
放送大学教授
石丸昌彦氏 (本校卒業生の保護者)
「メンタルヘルスを考える ～こころ・ストレス・死生観～」
- (4) 2013年1月26日
東京工業大学リベラルアーツセンター教授
上田紀行氏 (本校卒業生)
「『生きる意味』を取り戻す フクシマ後の日本をいかに変革するか」



公開講座: 本校教員と生徒が講師となり、地域の小学生から社会人までを対象にした内容で、10講座を開講。



「点と線で生物を描く」



「身近なモノから見る世界の歴史」



「Brush Up Your English」



「はじめよう! ジャグリング」



「人と人をつなぐ ブラインドサッカー」

3. 地方自治体との連携

本校が2つの区にかかる位置関係から、世田谷区と目黒区の両区と連携している。両区とも「筑駒アカデメイア」に好意的で、世田谷区教育委員会から共催、目黒区教育委員会から後援を頂き、地元への広報活動にご協力頂いた。なお、このプロジェクトの好評を受け、目黒区教育委員会から、区教委主催の連携講座のコーディネーターが求められ、実施している。

4. 今後の展望

- ・すべてのアンケートに、この事業の継続を望む意見や次の講演を期待する意見が書かれていた。今後も継続的に「筑駒アカデメイア」を実施していくことで、筑波大学の附属学校として大学が果たす役割の一端を担い、筑波大学および本校が生み出す教育成果を地元に対して還元することができると思う。
- ・公開講座で実施してきた新しい学校文化の伝達は、本校にとって新たな教育開発や教育方向を獲得していく機会となる。加えて、地域の子供たちに対して本校の開かれた学校文化の成果を伝える重要な機会ともなっている。
- ・公開講座では、生徒も講師として関わらせているものもあり、「教える」ことが自身の学びであることに生徒が気付く格好の場ともなっている。地域と共に、本校生徒も成長する形の講座運営の進展も考えられる。